



障害者のしごとを考える母の会

『母たちのスキルアップ支援』とスキルの活用

代表者 沼田潤
 構成人数 20名
 活動歴 6年
 主な活動地 沼津市内
 HP <https://kokoronomama.wixsite.com/iroin-art>
 MAIL kokoronomama.art@gmail.com

計画達成度 75%



事業目的

- 親子が前向きになれるコミュニティと環境づくり**
 障害に対する理解が広がる場をつくり、自ら社会活動に参画できるようになる
- 障害を抱える子どもたちの将来の「しごと」や「居場所」づくり**
 やりがいや誰かに必要とされる喜びを感じられ、個々に応じた自立に向かえる

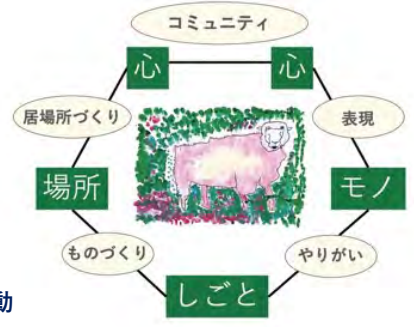
現状と目標

社会背景や課題

- 障害を抱える子どもが増える一方で、個々に合った居場所（施設・就労先等）が少ない
- 保護者は学校を卒業した後の子どもたちの人生に不安を感じている
- ひとりで悩みを抱えている保護者も多く、閉鎖的な環境が見受けられる
- 障害を抱える子どもの子育て環境は、周囲の理解や支援の体制によって大きく変わる
- 必要な支援や得意な事は何だろうかと様々な方に関心を持ってもらうことが大切

課題解決のための目標

- 気持ちが楽になるコミュニティをつくる
- 障害理解が広がる場をつくる
- 親子が安心できる環境づくりをする
- スキルアップと働く支援をする



活動と成果

役割と環境づくり

チームで子どもたちと楽しみながら活動

- ① 創作活動
 - ② デザイン講座
 - ③ スキルアップ研修
 - ④ 地域交流
 - ⑤ お仕事体験
 - ⑥ ジョブコーチ
 - ⑦ 心のままアート展
- 子どもたちとの創作活動・創作意欲に繋がる場づくりができた
 表現披露の機会をつくり、仕事に繋がるサポートを学ぶことができた
 事業所の見学やセミナーを実施し、情報を共有することができた
 アートイベントなどを通じ、地域の方との交流ができた
 得意なことを見つけたり、ルールやマナーを学ぶ機会になった
 現状や支援環境を整える講演を実施し、参加者に興味を持っていただいた
 オンライン展示とリアル展示(6ヶ所)ができ、作品披露の場を持てた



振り返り課題

障害を抱える子どもたちの将来の仕事と居場所づくりを目的とした団体を2017年に立ち上げてからこれまで、わが子が地域の中で自立した生活（それぞれの自立度で）を送れるようにと願い、コミュニティを構築しながら事業を進めてきました。

2022年度のまちづくりファンド事業は、母子のコミュニティとしての位置づけが強い「障害者のしごとを考える母の会」から、障害を抱える子どもたちの将来の働く場所としての「カフェと工房ぼくの色」にまちづくりファンドの事業主体を移し、地域の方々の「生活に直接的に役立つ将来の仕事」として、**折り畳み式ゴミかご**の事業化に取り組みます。地域に必要とされ、地域の役に立つ、個々の特性・能力に合った新たな仕事を母たちが見出して形にし、子どもたちの社会的自立を裏方として支えていきたいと思ひます。